

牛久産ワイン実現に ワイン用ぶどう初収穫



耕作放棄地を再生した畑で、ワイン用ぶどう「富士の夢」が9月3日、ついに初収穫を迎えました。

このぶどうは、平成25年3月に市が出資する「うしくグリーンファーム(株)」が苗を植え、育ててきたものです。今回の収穫量は約400kg。ワインにする

ると、約400本になる予定です。日本初のワイナリー「シャトーカミヤ」を擁する牛久市には、かつて広大なぶどう畑が広がっていました。牛久市は平成25年12月にワインで有名なイタリアのグレーヴェ・イン・キアンティ市との友好都市締結を行い、再びワインをキーワードにまちの活性化を図っています。

収穫されたぶどうの醸造は姉妹都市・常陸太田市にある「檜山酒造」に依頼。どんな味のワインに仕上がるか、今から楽しみです。完成は今年11月中旬を予定しています。

牛久産ワイン用ぶどうの初収穫。ワインの味はとうご期待

問 農業政策課 ☎ 内線1811、1812

牛久駅前で安らぎのひとときを

— エスカードホールで会員制映画上映会開始 —

牛久駅前中心市街地のにぎわいづくりを目的として、10月からエスカードホールで月に一度、映画上映会が始まります。この映画上映会は「エスカードシネマクラブ」の会員限定で、毎月第4木曜日に開催されます。

8月28日には、同ホールでエスカードシネマクラブ設立記念試写会が開催され、北野武監督の「菊次郎の夏」が上映されました。エスカードシネマクラブ会長の坂弘毅さんは「毎月面白い作品を提供して、楽しんでいただき、駅前のにぎわいをつくりたい」と今後の意気込みを述べていました。

会場を訪れた市内在住の女性は「いい企画だと思う。今後どういった作品が上映されるか期待しています」と話していました。

「エスカードシネマクラブ」は年会員3000円、半年会員2000円。今年度はすでに予定会員数に達したため会員募集を締め切りました。来年度の会員募集開始日は、決定次第「広報うしく」でお知らせする予定です。

詳しくは、エスカードシネマクラブ事務局 ☎ 871・2301(市中央生涯学習センター内)までお問い合わせください。



入会申し込みには長蛇の列ができました



試写会で上映を待つ皆さん



試写会上映の様子

災害時の医療救護活動に

関する協定を締結

8月28日、市役所庁議室で「災害時の医療救護活動に関する協定」締結式が行われました。

これは、災害時に市が行う医療救護への協力活動などについて、「竜ヶ崎市・牛久市医師会牛久支部」（鳥越啓隆支部長）と協定を締結したものです。

この協定に基づき、災害時には牛久市からの派遣要請に、医師会から医療救護班が派遣され、救護所

での被災者のスクリーニング（症状判別）や傷病者への応急措置、医療の提供などが行われます。

池辺市長は「昨年実施した牛久市総合防災訓練をとおして、協定締結の話が出てきました。災害時には市民を守るため、医師会と一緒にあって対応にあたりたい」と挨拶。それに対し、鳥越支部長は「災害時に市から要請が来ればすぐに対応できるようにしていきたい」と話しました。



（写真左から）

小池右氏（竜ヶ崎市・牛久市医師会牛久支部防災委員会委員長）、鳥越啓隆氏（竜ヶ崎市・牛久市医師会牛久支部長）、池辺勝幸市長、野口憲副市長

今夏一押し of 思い出づくりを・女化で

— スローライフ in 女化 —

8月23日、女化青年研修所で「女化夏祭り」が行われました。会場では、地元の新鮮野菜や惣菜の格安販売、石や食器などに絵を描く体験などが行われました。同研修所にある石窯で焼いたピザも好評で、女化産ほっかほかの新さつまいも500個無料プレゼントには長蛇の列ができました。

「木と仲良し」コーナーでは、松の間伐材で作られた積み木でカマクラづくりが行われ、参加した小学4年生の大木陸斗さんは「2人で力を合わせて積んだ。いっぱい積んだから手が痛くなったけど、楽しかった。来年もやってほしい」と話していました。ひたち野地区に在住の女性は「私が住んでいる地区と雰囲気違って女化は自然に囲まれていますね。また参加したいです」と話していました。

「木と仲良し」コーナーでは、松の間伐材で作られた積み木でカマクラづくりが行われ、参加した小学4年生の大木陸斗さんは「2人で力を合わせて積んだ。いっぱい積んだから手が痛くなったけど、楽しかった。来年もやってほしい」と話していました。ひたち野地区に在住の女性は「私が住んでいる地区と雰囲気違って女化は自然に囲まれていますね。また参加したいです」と話していました。



積み木カマクラの中にはヒミツが… ▶



ファイレンツェの研修生が 小学校で国際交流



トスカーナ州について写真を使って分かりやすく説明するフランチェスカさん

平成25年12月に友好都市を提携したイタリアのグレーヴェ・イン・キアンティ市との交流の一環として、7月からファイレンツェの経営専門学校生・フランチェスカ・フォンタネッリさんが研修生として牛久市に滞在しています。

9月初旬、フランチェスカさんは牛久小学校など4校を訪問し、スライドショーを使ってファイレンツェがあるトスカーナ州の歴史や文化などについて紹介。児童は外国の文化などに興味津々で、イタリアの小学校の事情などについて質問をしていました。

楽しくエコクッキング

8月30日、市中央生涯学習センターで『親子クッキング』冷蔵庫すっきりエコ・クッキング』（主催・牛久市、協力・東京ガス）が開催されました。

当日は19組40人の親子がエコロジーを学び、ドライカレー・卵スープなどを作りました。親子は、先生から「食材を使い切る、鍋はふたをする、炎は鍋より小さくする、鍋の水気を拭いてから火にかける」などの工夫で50%省エネできることを学びました。

参加した親子は「家でもエコクッキングをやってみよう」「忙しいとエコを忘れがちだが、いい勉強になった」「簡単に楽しくできた」などと感想を話していました。



親子でエコクッキングにチャレンジ!

いざというときに備えて

8月25日夕方、牛久市役所で市職員を対象に、不審者対応研修が行われました（下写真）。

当日は牛久警察署の方を講師に迎え、刃物などを持った不審者に対する「さすまた」の使用法や防犯の心構えなどを研修しました。牛久警察署ひたち野交番所長の平井吾朗警察補は『さすまた』は武器ではなく、警察が来るまでのけん制用具です。普段から慣れていただき、事件が起きたら連携して対応し、警察を呼んでください」と話しました。



不審者に扮した警察官に「さすまた」を使う市職員

地曳き網体験!

茨城県の魅力を再発見

8月31日、一般社団法人牛久青年会議所が茨城県の魅力を多くの人に広めたいとして、「茨城を食べて学ぼう」親子で地曳き網体験」と題し、市内小学生の親子30組と共に、大洗サンビーチで地曳き網体験を実施しました（下写真）。

当日は、茨城県と牛久市の観光スポットの紹介や農業・水産業・畜産業の現状、特産品などを親子で学びました。



夏休み、楽しみながら学べたよ

ボーイスカウトが市に寄付

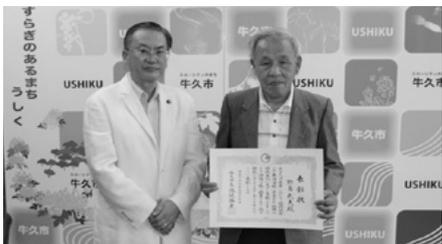
8月22日、日本ボーイスカウト牛久第1・第2・第4団が、7月に開催された「うしくかつぱ祭り」で集めた寄付金4万4924円を「ふるさと応援寄附金」として市に寄付しました（下写真）。寄附金は市が行う震災被害対策として使われます。



長年にわたり地域美化に貢献

8月27日、庄兵新田町に在住の野島武夫さん（74歳）が地域に貢献されたとして、牛久市から善行表彰を受けました（下写真）。

野島さんは、三日月橋の橋上の草取りを6年間にわたり行ってこられました。長年にわたりご協力いただき、ありがとうございます。



戦争の悲惨さを考える

7月30日から8月1日の3日間、市内の中学2年生計20人で構成される「牛久市平和使節団」が広島県へ派遣され、原爆ドームや平和記念資料館を見学したり、被爆体験者からお話を伺ったりしました(左写真)。

参加した団員は「原子爆弾の恐ろしさ、戦争のむごさが分かった。悲劇を繰り返さないために、自分たちなりに何ができるか答えを見いだし、平和の意味を改めて考え直したい」などと話し、大変意義のあるものとなりました。今後団員たちは、今回の体験を記録にまとめるとともに、それぞれの中学校や、12



月6日に市中央生涯学習センターで行われる「牛久市平和の集い」で、使節団の活動の成果を発表する予定です。

還暦古稀野球大会で熱戦

8月4〜6日、「関東還暦古稀野球大会」が東京都太田スポーツセンター野球場で開催され、「うしくゴールデンボーイズ」(70歳以上のメンバーで構成が出場しました)。

試合当日、同チームは年齢を感じさせないハッスルプレーを連発し、決勝では「品川トータス」(東京都)と猛烈的な打撃戦を展開しましたが、僅差で敗れました。しかし、選手表彰では「敢闘賞」に大原



8月25日、優勝報告に牛久市役所を訪れた「うしくゴールデンボーイズ」の皆さん

第21回牛久オープンバドミントン大会結果

(7月27日、牛久運動公園体育館、参加63ペア)

部門		優勝者(ペア名)
男子	1部(上級者)	西脇広高、進藤和敏 (アミ)
	2部(中級者)	川村竜也、梶井宏樹 (一般)
	3部(初級者)	横井彰、横須賀将志 (ALPHA)
女子	1部(上級者)	横田真澄、横田ゆかり(アミ)
	2部(中級者)	小林ひかり、高塚玲 (一般)
	3部(初級者)	宮本直子、中山みゆき(Eクラブ)

第5回関東牛久マレットゴルフ交流大会

(8月10日、市総合福祉センターマレットゴルフ場、参加140人)

順位	男子の部(所属)	女子の部(所属)
優勝	菅原喜昭(牛久)	村崎フク子(牛久)
準優勝	佐藤行夫(牛久)	菅原保子 (牛久)

「牛久マレットゴルフ友の会」では、健康・体力作り・親睦を目的に、生涯スポーツとして毎日楽しく活動しています。主催大会に加え、外部大会にも積極的に参加し、交流の輪を広げています。興味のある方は一度体験しに来てください。

問 牛久マレットゴルフ友の会(小西) ☎872-1251

投手、「打撃賞」に田所内野手が輝きました。また、8月25日に群馬県太田市で開催された「第19回東日本還暦軟式野球大会」では見事優勝。この大会は60歳以上が参加し、岩手県から神奈川県までの東日本各地から精鋭32チーム、総勢約900人が参加。決勝では「うしくゴールデンボーイズ」は千葉県の「市川ライオンズ」を11対3のスコアで圧倒

し、5年ぶり3回目の優勝を果たしました。日頃鍛えた体力と気力を十二分に発揮した選手たちは、地域を超えた交流を楽しみながら3日間の真剣勝負を終え、その日のうちに牛久市役所を訪れ、池辺勝幸市長に優勝報告をしました。

